

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2016年 2月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2016年 2月1日発行 通巻274(毎月1回発行)

冬山の山行は

天気図を読もう

2月号目次

・ 目 次	2
・ 1月理事会報	3
・ 会・クラブ紹介 山の会「岳樺クラブ」	4
・ 県連総会案内	6
・ 委員会報告（ハイキング委員会）	7
・ ハイキング委員・リレーエッセー	8
・ 雪上技術講習会案内	10
・ 県連便り	11
・ 2月・3月予定表	12

表 紙 説 明

50周年記念 みんなで登ろう「房総のやま・50選」からの紹介です。
千葉県最高峰「愛宕山」は、基地内にあり登山には許可が要る。

10月25日の基地開放日に合わせ、見学者の中には、県連の会・クラブから多くの会員が集合した。その隣にある「峰岡浅間」の登山道には幾つかの古い苔むした石像があった。浅間神社信仰に由来するのだろう。山は信仰の対象であり、自然の恵みもある。里山は地元の生活に密着し、守られている。隣同士の山は今、全てが対照的である。

50選の取り組みがなければ、見る事も感じる事もなかつたろう。

2016年1月度理事会報告

■開催日時:1月21日(木)19:00～

■開催場所:船橋市西部公民館

■出席:ちば山、松戸、茂原、船山、ふわく、東葛、遠足、らんたん、かがりび、あびこ、こまくさ、シリウス、岳樺、自然保護、教遭、救助隊、会長、理事長、副理事長、会計(山翠会理事兼任)、ふれあい担当、顧問 以上22名

■配布資料

- ・15年事故報告
- ・2016雪上技術講習の案内(案)
- ・第16回ふれあいハイク参加者募集

■議題

1. 委員会・救助隊報告

*教育遭難対策委員会(岡田賢)

1) 事故報告

- ・11/3、安蘇山塊根本山における下山中の林道での転倒骨折事故(あびこ)
- ・教遭への報告が12月末と遅れた→治療費が小額のため申請しない
- ・基金の事故取扱い→申請が無いものは事故としてカウントしていないが、県連は再発防止の観点から申請の有無に関わらず事故としてカウントしている

2) 雪上技術講習

- ・4/2 実施、谷川・マチガ沢出合付近
- ・今回より参加費として500円/人徴収
- *ハイキング委員会(高見)
- ・第32回房総ロングハイク 70名参加予定
- ・男子は寝具用意のこと
- *自然保護委員会(菅井)
- ・クリーンハイク6/5 予定、七里川溪谷
- ・前夜、七里川温泉で記念集会
- *救助隊(吉田重)
- ・1/19 救助隊総会開催
- ・横山隊長継続
- ・隊員登録33名

2. ふれあいハイク関連(岡田正)

- ・5/29 実施(雨天決行) 場所:房総鹿野山
 - ・観光バス3台(内 リフト付1台)
 - ・県連より80名~100名の参加を願いたい
 - ・申込締切り4月末
- ### 3. 総会関連(広木)
- ・3/6 開催、場所:千葉県スポーツセンター宿泊研修棟第4会議室
 - ・総会準備 1/22 議案書締切→2/2 役員会議案討議→2/18 理事会議案提案・修正→2/23 総会資料印刷、9時集合
 - ・加盟会活動報告書提出、2/18 締切り

4. 50周年関連(広木)

1) 自然保護セミナー

- ・セミナーの記録作成(CD2枚組)→トウフナ映像の横山氏(ちば山)に協力いただいた
- ・各会に1枚配布

2) 房総の山50選

- ・報告書の作成→各会に割り振る
- ・HPに関連のカテゴリーをアップ済み

3) 他の記念事業

- ・記念誌の発行「50周年のあゆみ」(仮)→年内の完了目指して早急に実行委員会を立ち上げる
- ・50周年記念集会 実施時期、会場を早急に決定する

5. その他

- ・中央線鳥沢駅トイレ設置要望の署名
- ・シリウス山の会新理事 浅川さん

■今後の理事会日程について

- ・2月18日(木) 場所:西部公民館
- 時間:19時より

山の会「岳樺クラブ」紹介

会長：荒井 良

★会の創立とコンセプト

1993年6月創立、1994年2月千葉県勤労者山岳連盟の傘下に。
コンセプト「若者のようなバリバリのアルパインはできないけれど、中高年らしいアルパイン（ライトアルパイン）を実践する。

山岳経験豊富な会員、経験の浅い会員、縦走大好き会員、室内壁が好き、ハイキングが好き、高年齢もいる、40代もいる、各会員が会の山行を通じて自己実現できる、そんな会にしたい、と願っている。

★会の現状

○会員数：2015.9.1 現在9名 年齢層は40代～70代 千葉、埼玉、東京に分布。

○集会；月1回。集会に先立ち、無雪期は岩場のゲレンデでクライミング、確保、懸垂下降の練習。積雪期は以上に加えてアイゼンによる登攀の練習。その後現地にて集会。

○例会山行：毎年3月の総会時に年間計画の概略を策定する。山行はその計画に沿って予定するが、参加者の事情、要望、目的のルート等を配慮して決める事もある。

★現在会員の生の声の紹介

✓竜少年：ライトアルパインは丁度いい。必ず生きて帰るがモットー。ザイルに血が通うクライミングは最高。会員数が15～20名が一番いいのですが・・・募集中。

✓Mierinn：埼玉在中、岳樺に在籍して20年です。会で技術を学び、ゲレンデクライミングを楽しみたい中高年女子、一緒に登りませんか。

✓微苦笑；これまで縦走中心の山歩きから岳樺でクライミングに出会い房総鋸山南壁を主に楽しんでいます。クライミングは体力の落ちた山好きの落ち着くところかな。

✓nobu；中高年だからと言って遠慮する必要はなく、積極的な登攀をできたらと思っています。ただし、実力・体力相応に安全第一の山行を、です。これからの会を引っ張ってくれるような若く登攀意欲の高い人がさらに増えてくれるとより充実してくるかな。

✓ちょこ；雪山や、クライミングなど、やってみたいとは思いつつ、なかなか出来ずにいたことが、会に入り、いろいろと教えていただくことで、少しずつですが、経験できようになりました。

「必ず生きて帰る」をモットーに、豊富な知識・経験のある、信頼できる諸先輩方のお陰だと思っています。会に入っていないければ、「憧れ」で終わってしまいそうなこと。少しずつでも実現させていきたい。山の楽しみが広がるはずですよ。

✓DG ; 四季を問わず縦走を中心に 15 年ほどやってきて、バリエーションルートへの憧れが増していった。年齢も 40 後半であったので、そこからでも入会できるクラブを探し岳樺に入れてもらった。おかげで北鎌や白馬主稜などクラシックルートに登ることができた。定期的な訓練にも力を入れていて会員のスキルアップに努めているところは良いと思う。少人数すぎて個人山行を柔軟に計画しづらいところはあるので、今後は会員数を増やしていきたい。山をよく知るベテランの方々から、技術・経験・ノウハウを継承し次の世代に引き継いでいけるよう盛り上げていきたいと思います。

✓KMT ; 昔から憧れのアルパインクライミングをやってみたくて入会しました。

荒井会長を始め皆様の山に対する情熱とまじめに取り組む姿勢には頭が下りまず、かと言って堅すぎず適度なユーモアもあり硬軟バランスの取れた良い会で居心地が良いです。

“必ず生きて帰るがモットー” は伊達じゃありません。ご興味ある方は是非!!

✓みっちゃん ; 私はアルパインクライマーになりたいという憧れだけで、岳樺に入会させていただきました。夢が叶うかどうかはこれからですが、経験豊かな諸先輩方のご指導のお陰で、少しずつ「自分の山」に近づけています。

✓Muu : 入会前は、地図に描かれた登山道を歩くだけが「山」でしたが、入会後は登山道を超えて「登れる山」が増えたので、現在は「登りたい山」が増える一方で楽しくて仕方ないです!

なお、ホームページ : 山の会岳樺クラブで検索。



白馬大雪渓にて

千葉県連盟 定時総会の案内

千葉県連盟・会長 広木 国昭

日頃、千葉県連盟活動に参加・協力をいただき有難うございます。
千葉県連盟創立50周年事業につきましても、会・クラブから多くの会員の参加をいただき予定通り進んでいます。

現在は、初年度事業のみんなで登ろう「房総の山・50選」が最終段階に入り、完登の連絡が入っています。

さて、2016年度は創立50周年本番の年であります。
千葉県連盟50年の歴史と成果を確認し、次世代に向かって一歩踏み出す大きな節目にするために、第50期（2016年度）・第51期（2017年度）の定時総会を実施します。現在、県連理事会を中心に総会準備を進めています。

定時総会の概要と日程を、下記のとおりお知らせします。

会・クラブの参加・協力をお願いします。

記

- 1、実施日時 2016年3月6日（日）12時受付開始
- 2、会 場 ・千葉県スポーツセンター・宿泊研修棟 第4会議室
(TEL 043-290-8501
千葉県モノレール・スポーツセンター駅下車)
・車 : 京葉道路穴川インターから、柏方面へ3分右側
・モノレール: JR千葉駅より、スポーツセンター駅下車
・バス: JR稲毛駅より、京成バス草野車庫行き
- 3、問い合わせ 千葉県連盟・会長 広木 国昭
Eメール danphiro@zpost.plala.or.jp
携帯 090-8316-2020



千葉県スポーツセンター 案内図

2015年度 第5回ハイキング委員会 2016年01月12日(火)

出席者 桑原、佐川、八巻、大田、花井、高橋、高見、吉澤、中原 9名

1) 第32回 房総ロングハイキング

2016年1月30日(土)、31日(日) 前回同コースで決定。七里川連絡済。
東葛地区 大型バス1台に変更 45+8=53名(津辺野山・水仙) 料金11,000円

参加者 松戸山の会9、かがりび4、岳人あびこ11(一日のみ1)、東葛山の会25、49名
以上バス

こまくさ9、ちば山の会4、ふわく4、茂原1、(東京山友会3)21名 計70名
スタッフ 宿泊 69名

CL 桑原、SL 高見、会計佐川、班長各会、記録各会、無線桑原、札桑原、しおり吉澤、

① 桑原委員長挨拶 ② 中原コース説明 ③ 安彦・広川50座説明 宴会雑談

2) ウィークデー山行

開催の有無 今回は県連50周年に当たりますので、今後の行事に積極的に参加する事に決定。

例、ふれあいハイク5/29、クリーンハイク6/5、記念イベント11月等々。

3) ちばニュース掲載引き続き行う事にする。タイトル(山への想い)雑感

12月天野、1月吉澤、2月高見、3月佐川、4月中原、5月花井、6月高橋、7月加藤、
8月桑原

※ 前月の20日までに「ちばニュース」当分の間、会長広木様メールまでお願いします。
送信後の返信を確かめて下さい。

県連50周年記念行事。

千葉の山 50座

記念誌発行 (50年のあゆみその他)

記念イベント 清和県民の森(40周年記念同様)か内浦県民の森

※NPO法人「ちば労山ゆう」支援活動

3月19日(土)20日(日)石巻 谷川浜: 4月以降は南相馬行。

※県連総会 3月6日(日) 昨年同室 天台スポーツセンター第4会議室

総会后 第6回ハイキング委員会開催～懇親会

次回委員会 2016年 3月 6日(日) 17:00～ 総会所 ロビー

北陸名峰「白山」山行記

ハイキング委員 吉澤 重克
(市川山の会)

2015年の夏は北陸新幹線開通に伴い、市川山の会としては欲張って百名山2座の登山行を計画した。

8月3日東京6:16発の「かがやき」501号で出発。男性11名、女性9名の計20名。16時26分富山駅着。直ちに私鉄で立山駅まで行き、そこからケーブルカで美女平へ。この日は好天に恵まれ室堂から雄山に登った。

金沢で一泊し、翌日は主目的の白山登山だ。岡田県議他1名を加え総勢21名になり6:45発の別当出合行きのバスで出発した。臨時バスが出、我々は貸切で快適であった。川に沿った景色のよい山間の道を約2時間半乗り、9:10に「別当出合」(1260m)に到着した。ここから5時間以上登るためストレッチを入念にし、準備を整えて、4班に分かれ9:35出発した。いきなり長い吊り橋で、渡るとき大きく揺れるので少々怖かった。木道など山道はよく整備されており樹林帯の中ゆっくりと登って行った。10:15「中飯場」、広く水場もあるので休憩する。日が出たり曇ったりで適当に涼しく快適だ。11:12「別当観」でまた休憩、ここは1750mまだ700くらい登らないと室堂に着かない。眼下に深く開けた沢と向こう側には山(白山と思ったがちがうとのこと)がきれい。12:10 勘の助避難小屋着、ここは広く水もトイレもあり、ここで昼食をとることにした。喉の渇きが激しく、皆水を飲み水筒に水を詰めた。12:40 出発、別山方向に荒れた山肌が見える。この辺まで歩いてきて白山は緑豊かだが、周囲には土砂崩れの跡の山肌が多いことがわかる。そのため砂防堰などの工事を行っている。12:40 避難小屋を出発し、高山植物がようやく周りに見えるようになった。道は相変わらず険しく汗がひっきりなしに流れる。13:10、室堂まで2kmの標識があるが、少々うんざり気味である。しかし高山植物がかなり出現し、目を楽しませてくる。13:55 きれいな花畑の真ん中で休憩し写真などをとる。ところどころ小さな沢からの水が流れ、気分的には涼しさを感じる。説明してくれるオジサンがいて、黒ボコ岩までは険しいけれどその先は素晴らしいよ、と言っていた。その黒ボコ岩に14:10到着、ここは2320mであと0.9kmの標識。大きな特徴のある岩が数個あり、登ってくるとき下から見ると家の形に見え、Nさんは「あれ家でない?」と言うほどであった。この黒ボコ岩を過ぎると弥陀ヶ原で、木道が続いたきれいな高原になり、正面に白山がそびえ左には大きな雪渓も見え、天気もよくルンルン気分で今までの疲れが吹き飛んだ感じだ。しかし弥陀ヶ原を過ぎると最後の急登だ。一步一步着実に登り、14:50 ついに白山室堂センターに到着した。全員登ってくる事を信じて21名分支払い入室した。

明日早朝登る白山は正面に見え、時々ガスが頂上を隠すが、なだらかな素晴らしい山だ。約1時間で全員センターに到着し、まずは有志でビールで乾杯をした。夕食後全員テーブルを囲み、岡田県議の音頭で乾杯し、初めての方もいることから自己紹介を兼ねた交流会を行った。

一番多かった感想は「白山と言う山が無知のためか、これほど厳しい山とは思わなかつ

た。行く前、大した山ではないなどと言った計画した人を信用したのが誤りだった？」
ということなど、多くの意見、感想が出た。またお互いに知り合い交流を深めた山の上
で行う交流会は浮世を忘れさせ心から楽しい会だった。この日は室堂センターで一泊。
翌日は白山山頂でご来光を見るため朝3時半に起床し、身支度をして4時センターを出
発。多くの人々が既に山を登り始めている。約300mの標高差。ヘッドランプをつけて、
もくもくと登る。岩場の道だが、整備されて登りやすく、予定どおり40分歩き4時40
分に頂上に到着。頂上の御前峰には神社があり、またご来光を拝むための神主さんの場
所があり、そこに神主さんがご来光の前に立ち、しばらく白山の歴史や周囲の山々の説
明をしてくれた。完全に日が昇った5時3分に神主さんが万歳三唱をしますと言ひ、登
山者全員で万歳三唱をした。何とも妙な気分であった。記念撮影をし、下山を始めた。
約20分歩き5時40分にはセンターに到着した。お花畑散策やお池巡りする時間がない
のが残念であった。もう一泊すればさらに白山の自然を観賞できたのではないかと思っ
た。

下山は登りの時間から考え、何人かはセンターを先に出発し、その他の人は7時に出発
した。下山は登りとは異なり、かなり楽な行程であった。登り返しがなく、白山はただ
ひたすら登る山のような。途中1回10分間の休憩ととり1時間半後の8時25分避難小
屋到着。ここで先に出た一部の方と合流し、緑の中さらに下り、9:10別当観、中飯場
には10:00、この後先発グループに追いつき、例のつり橋を渡り、バス停のある別当出合
には10:50に全員無事到着した。あとは白峰温泉に入り2日間の汗を流し、バスで金沢
へ、そして予定どおり17:09初の新幹線「ががやき」で19:44には無事東京駅に着いた。
今回の夏の特別企画は百名山を一度に2座登ったことは市川山の会としては初めてであ
った。その一つ、白山は、2700mという高さはアルプス並みでも、それとは趣が異った
様相の山であり楽しい山行になった。



2016 雪上技術講習の案内

千葉県連教育遭難対策委員会

2016年度も、残雪期の事故防止を目的とし、単独での実施が難しい会・クラブを念頭において、県連救助隊を中心に県連盟主要会・クラブの協力を頂いて、下記の通り開催します。

各会よりの積極的な参加をお願いします。

記

- ・ 実施日 2016年4月2日(土)
7:30 現地集合
8:00 講習開始
13:00 講習終了
- ・ 場所 谷川岳 マチガ沢出合い付近
- ・ 参加費 500円/人(各会でまとめて、現地清算)
- ・ 宿泊 土合駅 マチガ沢出合い付近 土合山の家
(注) ロープウェイ駅待合室は宿泊不可
- ・ 主催 千葉県連教育遭難対策委員会
- ・ 主管 千葉県連救助隊
- ・ 協力 ちば山の会 船橋勤労者山の会 千葉AC 山の会「岳樺クラブ」他
- ・ 日程 4/2(土) 現地集合7:30 開始8:00~13:00
4/3(日) は自由行動
- ・ 内容 雪上技術訓練 初級及び中級
一般的な冬山登山でのロープワーク含む。
- ・ 交通 各会・クラブ毎でお願いします。
- ・ 宿泊 土合駅 マチガ沢出合い付近又は土合山の家
- ・ 持参装備 雪山装備一式
ロープ1各班毎(9*45 8*30等)
- ◆ 注意 ロープウェイ駅待合室は宿泊不可
- ◆ 参加会の事前打ち合せ: 3/24(木) 19:30~県連事務所
- ◆ 申込み 3/13(日)までに 別紙申込書にて遭対委員会岡田まで
- ◆ 連絡先 e-mail: ken-ichi@f4.dion.ne.jp 又はfax: 043-271-4704。

県連盟では、初級講習会・事故防止交流集会・ワンコイン講習会・そして今回の「雪上技術講習会」等を実施しています。

楽しい山行をサポートする講習会です。会・クラブの山行仲間と一緒に参加して、技術力をアップして下さい。

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

- ◎ 県連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX： 043-306-1190
Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分
(県連事務所に常駐者はいません)

- ◎ 千葉県連ホームページ
<http://www.cwaf.jp>
県連盟への問い合わせは、上記ホームページ
事務局への問い合わせまでお願いします。
- ◎ 加盟会会員の事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax：043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず
送付の事。
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
機関紙委員会・広木 国昭
danphiro@zpost.plala.or.jp
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先
口座番号：ゆうちょ銀行
00240-8-98419
加入者名：NPO法人 ちば労山ゆう
代表者 吉田 哲治
- ◎ その他、県連盟、全国連盟への、
ご意見・問い合わせなどは・広木まで

NPO法人「ちば労山ゆう」

- 「ちば労山ゆう」とは、東日本大震災を支援するために、千葉県勤労者山岳連盟を母体として活動を始めた、被災者支援NPO法人です。
- ◎ 「ちば労山ゆう」への入会は千葉県連盟ホームページから常時入会出来ます。
 - ・入会申し込みは
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
 - ・「ちば労山ゆう」への問合せは
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>

 - ◎ 支援活動日のお知らせ
 - ・ 2月はお休みします。
 - ・ 3月19・20日 谷川浜

 - ◎ 支援物資販売活動について
皆様のご協力により、交通費の補助に役立っています。
引き続きご協力をお願いします。
三陸・気仙沼直送の支援物資は「おさしみわかめ」「さしみこんぶ」「くきわかめ」「すき昆布」「とろろこんぶ」
おさしみこんぶは、鍋料理、昆布巻きにするとおいしいと評判です。
宅配も、相談下さい。
支援物資に関する問い合わせは
下記アドレスに連絡を！
danphiro@zpost.plala.or.jp
- 

県連活動予定表

3月		行事予定	2月		行事予定
1	火	役員会	1	月	女性委員会
2	水		2	火	役員会
3	木		3	水	
4	金		4	木	
5	土		5	金	
6	日	県連総会	6	土	
7	月		7	日	
8	火		8	月	
9	水		9	火	
10	木		10	水	
11	金		11	木	
12	土		12	金	
13	日		13	土	
14	月		14	日	
15	火		15	月	
16	水		16	火	
17	木	理事会	17	水	
18	金		18	木	理事会
19	土		19	金	
20	日		20	土	全国総会
21	月		21	日	〃
22	火		22	月	
23	水		23	火	「ゆう」役員会
24	木		24	水	
25	金		25	木	
26	土		26	金	
27	日		27	土	
28	月		28	日	
29	火		29	月	
30	水				
31	木				

発行者：千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190（事務所に常駐者はいません）

発行責任者：吉田 哲治 編集責任者：広木 国昭

問い合わせ先：千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ